

2014年度

(平成26年度)

学 校 情 報 の 公 表

2015年9月1日

学 校 法 人 川 原 学 園

東 京 動 物 専 門 学 校

目 次

はじめに

1. 学校概要

2. 教育活動

3. 学業成果

4. 学生支援

5. 教育環境

6. 学生募集

7. 財 務

8. 地域貢献・地域連携

9. 表

表 1 平成 26 年度 卒業生就職状況

表 2 平成 26 年度中に学校主導で取得した資格

表 3 過去 7 年間の自主退学者数と退学時期

表 4 学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

表 5 八千代本校舎 学生利用施設

表 6 富里実習施設主要動物舎

表 7 富里実習施設教材動物

表 8 看護コース実習室 実習用設備、及び備品

表 9 財務消費比較表（5 カ年）

はじめに

東京動物専門学校は、1987年東京都三田に東京動植物専門学校としてスタートし、1990年千葉県知事より専修学校の許可を得て、学校法人川原学園、東京動物専門学校として開校しました。開校にあわせて千葉県八千代市に八千代本校舎、富里市に富里実習施設も完成し、動物管理技術者を養成する専門学校として今日に至っております。

学校創設から20数年経過し、多くの卒業生が北海道から九州沖縄まで動物園や水族館をはじめ、多くの動物関連施設にて動物と一緒に働いております。

また2013年(平成25年)には更なる職業教育の充実を図る観点から、企業等との密接な連携を図り、最新の実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する制度ができ、東京動物専門学校(以下本学)も2014年(平成26年)3月にその認可を受け、職業教育やキャリア教育の充実に努めております。また学校情報についても従前通り公表してまいります。

1. 学校概要

(1) 校訓

東京動物専門学校校訓は「心・知・技・体」です。これは、動物管理技術者(動物飼育技術者と動物看護技術者を総称して動物管理技術者と呼ぶ)に必要な仕事、または動物に対する正しい考え方(心)、最小限必要な知識(知)、基本的な技術(技)、及び健康な体(体)をバランス良く兼ね備えた技術者を育成することです。

このうち、学校の授業で教授できるものは「知」と「技」であり、「心」と「体」は2年間の学校生活を通じての様々な体験より身に付くものであると考えております。

(2) 学校の歩み

① 学校設立

東京動物専門学校は、川原鳥獣貿易株式会社が母体となっております。前理事長川原義郎は、全国の動物園や水族館からの要望に応じて、世界中の動植物を取り扱ってきました。その仕事を通じて、これらの飼育現場には、動物に対する正しい知識と技術をもった人材がますます必要になると感じ、動物の飼育や看護の専門技術者を養成する学校を設立いたしました。

② 学校の概要

名称 学校法人 川原学園 東京動物専門学校

住所 〒276-0046

千葉県八千代市大和新田1093番8号

TEL 047-459-0511 (代)

フリーダイヤル 0120-010520

沿革 1987年 4月 前理事長の川原義郎が東京都三田に東京動植物専門学院を設立し、開校

1989年 12月 八千代本校舎完成

1990年 2月 富里実習施設完成

1990年 3月 千葉県知事より専修学校の認可を得て、学校法人川原学園を設立し、植物部門を廃止すると共に、東京動物専門学校と校名を変更

1990年 4月 東京動物専門学校開校

1992年 3月 本校新校舎完成

1993年 4月 学科を統合し、コース制を導入

2014年 3月 文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受ける

課程 動物管理専門課程 動物管理科

動物飼育コース 動物看護コース

2. 教育活動

(1)教科数、体系と目標

授業教科は2年間、49科目数、87単位で構成されております。2年間での総授業時間2451時間で、内講義は945時間、実習は1506時間。詳しくは、職業実践専門過程の基本情報にて、授業科目等の概要を示しております。

実習のひとつとして施設研修を2年次後期に実施しております。職業教育協定書(契約書等)を締結した事業者のもとにて、基本的には4週間(総時間数182時間)の動物飼育実習分野における実践的な職業教育を受け、就職に結びつけております。

(2)資格試験(各種資格)

潜水士/ダイビング、危険物取扱者(丙種、乙種)及び救命法講習会(基礎・救命員養成)について、取得方法の指導、試験についての相談、アドバイス等、資格取得講座を開設し希望者には受講させています。

(3)教職員

2014年(平成26年)5月1日現在の教職員数は総数で34名。

教員数 30名(本務 12名 兼務 18名)

職員数 4名(本務 4名 兼務 0名)

2014年度では、新入学生152名と前年同様であり、教職員体制は前年と同様な体制を維持しております。

3. 学業成果

(1)就職指導

①就職指導の方法

本校での就職指導は、大別して3つの方法で行っております。

第一の方法は、全体指導です。1学年に入学した時点から、全学生に「就職のしおり」を配布すると同時に、教育課程の進行状況に合わせて就職に対する準備の方法を指導しております。

第二に「就職ガイダンス」となる窓口を、学生課が週1回の割合で授業時間外に開き、個人的に就職の相談にのっております。

第三は、2学年後期（実践段階）に行われる施設研修です。学生が具体的に就職を希望する施設（企業）を決定し、学校が職業教育協定書の締結及び研修の申し込みをし、許可が与えられた場合に約4週間にわたって研修するものです。

専門学校で学ぶこととは、就職することとが結びついていることでもあります。就職指導も大切ですが、それ以上に学生には専門知識・技能を学ぶことの大切さを絶えず教示しております。

②就職状況

表1に2014年度(平成26年度)卒業生の就職状況を示しました。平成26年度卒業123名で就職者数は120名、就職率98%でした。

就職先は大半が動物関連業種であり、動物園、水族館、観光牧場、馬関連施設、酪農・畜産、実験動物、動物病院、ペット関連等非常に多岐にわたっております。

(2)資格取得状況

表2に2014年度の学校主導で取得した資格状況を示しました。国家資格の危険物取扱免許(乙種)、潜水士については、1学年次にて取得しています。民間資格の赤十字救急法救急員については、大半の学生が取得しており、緊急時での初期対応に役立つものと期待しています。

(3)自主退学者の状況

2008年より2014年までの7年間の自主退学者数と退学時期をまとめたのが表3です。1学年について前年と比較しますと、27名(18.0%)より2014年度は13名(8.6%)に半減しております。自主退学の理由として、進路変更、健康上の都合等であり、例年同様となっております。

4. 学生支援

(1) 学生相談

表4に、学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその述べ件数を2013年度と2014年度を示しました。

まず、学校関係では出欠席に関する相談（指導）が、1学年2学年とも共通して多かった。次に定期試験に関する事項が多かった。なお相談というより指導が大半であり、学習内容についての補習的指導であり、例年と大きな変化はなかった。

私生活関係では特に1学年に健康面での相談が多く、それは、全国から学生が集まっており、自宅を離れ、寮やアパートなどでの不慣れな新しい生活による健康状態での変動が出てきて相談となるものと思われます。

個々の学生の「心」と「生活態度」問題には、組織的に対応しており、従来 of 学生とは異なり、最近は、大きな問題を抱える学生は見られないようではありますが、動物飼育者として、余りにも優しすぎる、心の弱い者もおり、適時指導を行っております。

(2) 経済支援

① 特別奨学金制度

学生に対する経済的な支援体制のひとつとして、学費を無利子で貸与する学校法人川原学園特別奨学金制度を設けており、学費を無利子で貸与する制度です。

② 独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度

公的な奨学金制度を学生紹介するとともに、懇切丁寧に相談に対応し、経済支援をしております。

5. 教育環境

(1) 八千代本校舎及び学生利用施設

講義による知識の習得の場としての八千代本校舎は、1989年（本館）及び1992年（新館）に建設され、教室の面積によりコース別講義室（本館）と学科講義室（新館）に分かれています。

また学生利用施設として、自習施設（図書室）、福利施設としての学生ホールも備えている。詳細の面積等については、表5に示す。

また経年変化により、施設設備では本館屋上防水工事・外装塗装工事、キューピクル更新工事など、夏期休暇中に実施しました。2012年度に購入した校舎隣接地の土地について、学校祭にて活用しておりますが、中長期計画を策定し、その中で位置づけ等を考えたい。

(2) 富里実習施設

表6に富里実習施設の主要動物舎面積を示しております。動物舎は第1号より第22

号まで15棟あり、そのほかに放飼場、馬場、馬放飼場、付属農園があります。これらの動物舎は、本校の学生が動物舎の構造を実際に理解できる目的で、学生等の実習を兼ねながら手造りしたものが多く、体験実習の成果である。また展示施設ではなく、あくまでも飼育施設であり、動物福祉に配慮した構造としております。

表7には、富里実習施設において飼育し教材としている動物は、哺乳類から鳥類、は虫類、両生類、魚類まで、ほとんどの動物園等で飼育されている種類です。

(3)実習用設備及び備品

看護コース実習室の設備及び備品を表8に挙げました。看護コースの学生は、卒業後動物病院へ就職することが多く、表中の設備は、通常の動物病院では、平均的に備えている器具類であります。

(4)防災対策

八千代校舎では、八千代市消防本部の協力を得て、7月には消火器の実習などの火災防災訓練を、12月には地震防災訓練を実施しております。対象者は、学生及び教職員全員です。

6.学生募集

(1)インターネットでの情報提供

インターネットのウェブ上で、ホームページを開き学校紹介を行っており、学校案内、学べること、キャンパス紹介、卒業生の活躍、オープンキャンパス案内、最新情報ブログなど内容は、随時最新の情報に更新しております。また資料請求や問い合わせもウェブ上でできるようになっております。資料請求に基づき、学校案内を希望者には送付しております。

(2)オープンキャンパス

①学校説明会

学校説明会は、八千代校舎にて行い、学校及び学校生活全般の説明のほか、入学試験、学費、就職のことなど、なんでも質問できるようになっております。また校舎内の施設見学も併せてでき、学校内容を十分に理解、納得した上で試験に臨むよう入学希望者に説明しています。学校説明会は、3月より2月までに、計17回実施いたしました。

②授業見学

八千代校舎にて実際に学生が学ぶ様子を見学するもので、学校の雰囲気を感じることが出来ます。また休憩時間には、在学生と話すこともでき、若者同士による情報交換の時でもあります。授業見学は月～金曜日まで事前予約にて受け入れております。

③体験入学（実習体験）

富里実習施設の実習施設で実施している飼育実習の一部、動物のエサづくりやエサやり、乗馬体験などが体験できます。体験入学は、6月～9月の日曜日に計8回開催し、施設見学も体験入学実施月以外の時期に開催しており、どちらも事前予約が必要です。

(3)学校訪問

関東圏の高等学校には庶務課と学生課の職員が募集依頼で訪問しています。学校の担当者に直接面会し、学校案内に従い情報提供すると共に、受入れ募集を依頼しています。

8. 財 務

表9に財務消費比較表にて平成22年度より平成26年度までの過去5カ年分を示しました。入学生の増加に伴い、収入の大半を占める学費等の収入は増え、一方では消費支出も若干増加しておりますが、相対的には健全化の傾向を示しております。

9.地域貢献・地域連携

(1)学校祭

2014年9月19日から21日までの3日間、八千代校舎内及び校庭にて、学校祭を実施し、延べ1万人以上の来場者で賑わいました。富里実習施設より動物を、一時移動してくるなど、本校でなければできない内容になっております。動物とのふれあいや、エサやり、乗馬体験、動物たちのショーなど盛りだくさんの内容で、近隣の多くの皆様の来場を得、楽しい3日間のイベントとなりました。

この学校祭は、開校以来継続的に学生が主体となり、企画立案・作成準備・実施といった過程をこなし、運営するものであり、学生たちのコミュニケーションやリーダーシップなどの養成に大いに役立つものです。

(2)キリンキッズクラブ

子供たちが、正しい動物の接し方や飼育方法を学ぶことで、「命の尊さ」を感じて欲しいという願う目的で、小学生を対象にした「キリンキッズクラブ」を創設しております。「動物が大好きな子供たち」が120名以上集まり、年に数回、富里実習施設等を利用し、ヤギの乳でバター作りに挑戦するなど、各種行事を実施している。施設内の専従職員が主体となるが、本校の学生もそれを手伝うことにより、より実践的な接客体験となっている。

(3)看護コース実習犬

看護コースの実習内容を充実させ、実践性を高めることと、学生に緊張感を持たせることを目標に、地域の一般家庭でペットとして飼育しているイヌを借用し、教材犬とし、グルーミングの実習を実施しております。

表 1 : 平成26年度 卒業生就職状況

(2015年5月1日現在)

卒業生数 : 123名
 就職者数 : 120名
 就職率 : 98%

就職先分野	企業数	求人数	就職者数
動物園	28	46	33
水族館	10	22	9
観光牧場	14	24	15
馬育成・管理	18	43	4
酪農・畜産	28	65	6
実験動物	10	95	3
動物病院	78	119	11
鳥獣卸業・販売	17	26	19
魚類卸業・販売	1	2	2
動物訓練	3	7	2
その他動物関連	10	46	8
動物関連外	—	—	8
総合計	217	495	120

* 卒業生123名中、就職希望者は120名

就職先分野	主な就職先
動物園	仙台市八木山動物公園、荒川区立あらかわ遊園、浦安市交通公園、桐生が岡動物園、鹿児島市平川動物公園、※東京都恩賜上野動物園、※東京都多摩動物公園、静岡市立日本平動物園、※須崎市動物園、※いしかわ動物園、※海ノ中道海浜公園動物の森、東武動物公園、富士花鳥園、掛川花鳥園、群馬サファリパーク、富士サファリパーク、市原ぞうの国、アロハガーデンたてやま、
水族館	※青森県営浅虫水族館、※鴨川シーワールド、※横浜・八景島シーパラダイス アクアリゾート、※下田海中水族館、※大分マリンパレス水族館「うみたまご」
観光牧場	マザー牧場、成田ゆめ牧場、阿蘇ミルク牧場、鷹山ファミリー牧場、(公財)ハーモニセンター、野間馬ハイランド、ふじさん牧場ふれあい動物王国、南ヶ丘牧場
馬育成・管理	ノーザンファーム、ノーザンホースパーク、大沼流山牧場、うらかわ優駿ビレッジAERU
酪農・畜産	上ノ原牧場、加藤牧場、(独)家畜改良センター本所、高秀牧場、菜の花牧場、中春別営農サポート協議会
実験動物	JTクリエイティブサービス、ケー・エー・シー、
動物病院	おやま動物病院、小鳥のセンター病院、中馬獣医科病院
鳥獣卸業・販売	鳥カフェ、ペットエコ、ペットの専門店コジマ
魚類卸業・販売	尾形養鯉場
動物訓練	太郎倶楽部、※(福)日本聴導犬協会
その他動物関連	宮内庁管理部車馬課、埼玉県養殖漁業組合水産流通センター、自然教育研究センター、島田動物舎ZOOKISS

※印は、嘱託又はアルバイト契約(更新条件付)

表 2 : 平成26 年度中に学校主導で取得した資格

資 格 名	資格の区分 国家、民間資格	取得者数 (人)	
		1学年次学生	2学年次学生
危険物取扱免許 (乙種)	国家	5 2	0 (7 0)
潜 水 士	国家	7 1	3 (4 6)
赤十字救急法救急員	民間	1 4 0	0 (1 4 8)
		2 6 3	4
	合 計	2 6 7	【25年度 2 6 5】

() 昨年度 1 学年次に取得した者

表 3 : 過去 7 年間の自主退学者数と退学時期

単位 (人)

入学年度	入学者数	退学者合計 (退学割合%)	1 学年 前期	1 学年 後期	2 学年 前期	2 学年 後期	留年者
2008年	123	34 (27.6)	9	13	6	6	1(卒業)
2009年	97	11 (11.3)	6	3	1	1	2(自主退学)
2010年	98	26 (26.5)	8	13	1	4	
2011年	136	28 (20.6)	10	11	1	6	2(自主退学)
2012年	158	26 (16.5)	6	13	3	4	特別コース1 休学 1(自主退学)
2013年	150	27 (18.0)	6	15	5	1	
2014年	152	13 (8.6)	3	10			

退学割合 : 退学者数/入学者数

表4：学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

内 容	学 年	1 学年 (件数)		2 学年 (件数)	
		2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
学 校 関 係					
学 校 生 活 全 般		0	3	0	0
進 路 変 更		1	1	0	1
友 人 関 係		0	0	0	0
出 欠 席		35	49	26	16
定 期 試 験		56	60	14	1
学 外 研 修		0	0	0	0
私 生 活 関 係					
健 康		13	8	3	0
私生活全般		0	0	0	0
将来への不安		0	0	0	0
		105	121	43	18

表5：八千代本校舎 学生利用施設

校舎	用途	名称	面積 [m ² (坪)]	備考
本館	コース別講義室	201教室	60.75 (18.37)	
		301教室	60.75 (18.37)	
		302教室	60.75 (18.37)	
	実習施設	看護コース実習室	60.75 (18.37)	
	自習施設	図書室	33.77 (10.21)	※1
新館	学科講義室	203-1教室	120.66 (36.49)	※2
		203-2教室	120.66 (36.49)	※2
		303教室	279.30 (84.48)	
	福利施設	学生ホール	173.15 (52.37)	

※1：蔵書数（2012年3月31日現在） 2,029冊

※2：203-2教室（203-1）と合わせて、教室として使用可。

表 6：富里實習施設主要動物舎

名 称	面 積 [m ² (坪)]
第 1 号 動物舎	1 6 4 . 3 7 (4 9 . 7 2)
第 2 号 動物舎	1 6 9 . 0 3 (5 1 . 1 3)
第 3 号 動物舎	2 5 2 . 5 2 (7 6 . 3 9)
第 4 号 動物舎	2 2 0 . 8 9 (6 6 . 3 9)
第 5 号 動物舎	1 8 2 . 3 5 (5 5 . 1 6)
第 6 号 動物舎	2 6 9 . 5 4 (8 1 . 5 4)
第 7 号 動物舎	3 3 3 . 2 5 (1 0 0 . 8 1)
第 8 号 動物舎	1 2 1 . 2 0 (3 6 . 6 6)
第 9 号 動物舎	2 4 4 . 3 5 (7 3 . 9 2)
第 1 0 号 動物舎	2 0 5 . 7 0 (6 2 . 2 2)
第 1 6 号 動物舎	6 7 . 5 0 (2 0 . 4 2)
第 1 7 号 動物舎	9 . 7 2 (2 . 9 4)
第 1 8 号 動物舎	3 2 . 4 0 (9 . 8 0)
第 2 1 号 動物舎	2 0 . 2 5 (6 . 1 3)
第 2 2 号 動物舎	5 1 . 1 5 (1 5 . 4 7)
放 飼 場	3, 3 0 0 . 0 0 (9 9 8 . 2 5)
馬 場	2, 0 0 0 . 0 0 (6 0 5 . 0 0)
馬 放 飼 場	2, 6 0 7 . 0 0 (7 8 8 . 6 2)
付 属 農 場	1 7, 0 8 8 . 0 0 (5, 1 6 9 . 1 2)
合 計	2 6, 7 9 9 . 2 2 (8, 1 0 6 . 7 6)

表 7 : 富里実習施設教材動物

綱	目	科	種
哺乳綱	9	29	91
鳥綱	15	24	166
ハ虫綱	2	11	28
硬骨魚綱	6	9	19
合計	32	73	304

(2015年3月末現在)

表 8 : 看護コース実習室 実習用設備、及び備品

	設備及び備品名称	数量
1	AC-1システムケージL型	1
2	入院用ケージ	1
3	体重計診療台	1
4	手術台	1
5	動物全身麻酔装置	1
6	心電図モニター	1
7	レントゲンシステム	1
8	レントゲンカセット	9
9	シャウカステン	1
10	グリット	1
11	プロテクターグローブ	2
12	プロテクターエプロン	1
13	無影灯	1
14	保育器	1
15	内視鏡	1
16	自動高圧蒸気滅菌器	1
17	ガス滅菌器	1
18	ガス滅菌器 カスト	1
19	ヘマトクリット遠心機	1
20	殺菌線消毒器	1
21	顕微鏡 (モニター付)	1
22	顕微鏡	27
23	スケラー	2
24	輸液ポンプ	5
25	輸液ポンプ	5
26	検眼鏡・耳鏡付	1
27	喉頭鏡	1

	設備及び備品名称	数量
28	耳鏡セット アンテナ付	6
29	眼鏡セット	1
30	ウッド灯	1
31	尿比重計	1
32	卓上タンパク比重計	1
33	タンパク屈折計	1
34	ヘマトクリットリーダー	5
35	血球計算版(3種類)	17
36	黄疸指数計	2
37	聴診器 (学生用)	20
38	聴診器 (リットマン)	2
39	上皿天秤	1
40	電子天秤	1
41	骨格標本	1
42	模型 (眼・耳)	3
43	CPR DOG	1
44	術衣・有窓布・無窓布	37
45	グルーミング台	17
46	シンク	4
47	ハンドドライヤー	7
48	スタンドドライヤー	3
49	毛刈り用バリカン	6
50	シーラー	1
51	術衣棚	1
52	器械戸棚	1
53	物置戸棚	1
54	備品戸棚・物品棚	8

表9：財務消費比較表（5カ年）

（単位：千円）

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
帰属収入合計	358,599	378,229	356,284	311,783	241,512
基本金組入合計額	14,507	24,472	13,639	54,264	0
消費収入の部の合計	344,092	353,756	342,645	257,519	241,512
消費支出の部の合計	340,575	336,928	334,466	299,119	260,634
当年度消費支出超過額	3,517	16,828	8,179	41,600	19,121
前年度消費支出超過額	506,707	523,535	531,715	490,115	470,994
基本金取崩額					
翌年度消費収支超過額	503,190	506,707	523,535	531,715	490,115

減価償却費	15,009	14,653	13,893	14,160	14,531
-------	--------	--------	--------	--------	--------

在籍者数(5月1日現在)	281名	289名	273名	213名	187名
教員数(本務・兼務)	30(12・18)名	27(10・17)名	27(10・17)名	26(9・17)名	24(9・15)名
定員に対する現員比較	117.09%	120.42%	113.75%	88.75%	77.92%